

辰形本商報

每月三回七ノ日發行
定價壹枚貳錢郵稅壹錢
廣告料壹行壹圓貳拾錢
發行兼 濱田正夫
編輯印刷人 濱田正夫
大阪市南區安堂寺橋通丁目一番地
發行所 濱田日報社

申上候

○季は正に風物緊張の初冬に入り、糖界は正に端境に差し迫り活氣横溢稀有の盛況を呈し候、左に前報後十日間に於ける糖界成行の大勢を述べて善後の法の參考にも供し度く存し候

○何と申しても今度の花形は精糖に候二十三圓四十五錢と出来たる同糖は其伸力隆々として端境すべからず、一步

一歩建實なる歩調を辿る、市場は最初會社の八十錢發表を豫期したれ共好勢力の向ふ所旭日中天の狀を示し市場は走り走りて會社の發表もあらばこそ六十錢八十五錢九十錢と出来昂騰の氣先は毫も鈍らず嶄然として角頭を現はせるかの如く見受られ候。

○十二月は精糖の需用大なる月に候、相場一層昂騰の氣勢を納めざるべきか而も一面此の高相場を以てして依然として消費力は續くべきや否や、二十四圓に垂んとする相場は随分高きものに候、應て反動の來らざるか真摯に研究すればする程興味ある問題たらずんばあらず候。

○精糖今回の昂騰は起因那邊に存するや、其一朝一夕の小動機によりたるものにあらざるべく、以下述ぶる所の分蜜糖況又は海外事情等より延いて原料關係に想到する時は自然明かに察知す

るを得べく、強氣屋を強からしめたる六理ならず候。
○分蜜糖の任荷を検するに漸くにして本年内を支持するに足る丈の數量あるのみにして而も一方に偏したる手持糖の事とて相場の安價に停止するは到底望み得べくもあらず、剩さへ頻々たる外電は海外市場の高値を報ずるあり忽ちにして十九圓四十五錢より十九圓六十五錢と出来て本年を通じての最高値を現し候。
○分蜜新糖に至りては聯合會の本意は朦朧として捕捉すべからずと雖もそんな事は頓着するなく東西兩市場相呼應して愈々高く遂に十九圓五十五錢といふ高値を現し申候。
○相場の前途は適確に知るに由なく、今後亦一伸一張は免れ難き所なるも、蓋し此の十日間は殆ど明年度分蜜糖價の根柢を築きたるものと云ひて可なるものと存候。

○粗糖會社は一高所にありて冷やかに市場の成行を觀望し昨今の太勢を見ては會心の笑を禁じ得ざるべく、而して一層其態度を強硬にするやも計り難く候。
○唯聯合會が處分策未だ決せず、極めて冷淡なるが如く見受候は聊か與齒にももののはさまりたる感なきに非ず、用心すべきは此の邊と存じ候。

○而して海外の事情即ち宇内の商勢は上述諸糖價を煽り立てたるに預かりて力ありたるは云ふまでもなき事と信じ候。
○生産者は生産品の市場供給價格の高からんを欲し、消費者は其安價ならんを欲す、茲に於てか兩者は各々最善の努力を盡して己に利あらん事の方策を講ずるに至り申候。
○來期産糖に付きて是れを見る、生産者は必ずや此の未曾有の増收糖の内地需用供給を調節せんが爲めにはあらゆる手段を講ずるに至るべきは必然の數に候。
○需給を調節せんには如何にしても海外着目の一段あるのみ然らば海外の事情は如何、何れも我産糖に對して好望の聲頻々として耳朶を打つもの有之候。
○砂糖は世界的商品なり、なごか世界の相場に均霑せざるまでも接近せざるを得んや、日本の砂糖安ければ近時輸入關稅を徹廢して大いに砂糖輸入に對し便利を與ふべしと稱せらるる露西亞は日本より買ふなるべし、而して此の事實は日本に於て愈具體的に現はれんか日本糖價は大暴騰を演ずるに至るべし、反之瓜哇糖割安なりとせんか露西亞に限らず世界の市場は瓜哇の買附を開始するならん、然る時は瓜哇の砂糖は昂騰

を演ずるに至るべし、其結果は又日本の砂糖の海外流出となりて内地糖は上昂すべく候。
○要するに今後の糖界は産糖の豊富にして價格の低廉なる市場より産糖の不足にして價格の高價なる市場に流出を見て糖價は均勢を保つに至るべく候、而して日本の如く關稅消費稅等の鐵壁ある國に於ては糖價の標準高かるべきは勿論に候。
○聊か記事は枝葉に渡りて理論めき候得共此の關稅消費稅による糖價の高きは安價の砂糖の供給を受けんとする消費者にさりとては大失痛とする所にして從て需用の進歩程度遅々たるを免れず候、實に一國社會進歩の程度は其砂糖消費額の多寡によりて知らるるべし誰しも此の障壁徹廢を望まざるを得ざるも然も國家の状態はこれを許さずとせんは吾人は積極的に生産事業に改良を加へて此の保護政策を受くるの必要なきに至らしむるの覺悟を要するは急務に候。
○元に遡り候、兎も角も糖界は海外市況の影響を受けて相場は昂騰するに相違なりしとは強氣屋の材料の一に候、強氣屋の頭は少く其前記の事情も一分子として其腦裡に可有之候。
○而かも海外今日の狀況は愈々前記の材料に裏書するかの如く見受けらるる即ち頃日來減切り昂騰歩調を持續せる瓜哇糖は印度旗賣筋の買理め或は支那商人の思誠買に刺戟せられて一層の躍進を示し、最近白双廿五志原料糖廿一志六片の突飛相場を傳へ、玖瑪舊糖亦強硬にして五弗三十七仙半を報せり、而して此等上騰の遠因は露西亞關係に在する事は事實に候。
○斯くの如く事れば到底内地精糖原料として輸入するは困難の事狀あり、一

方支那市場は近來頗に恢復して從是愈々精糖輸出は好望に御座候。

○觀し來れば糖界の活境を呈するに至りたる素因は、一般に海外の事情に着目するに至りたるは其因の一なり本年の經驗によりて過剩糖の海外輸出の結果内地相場の高止り見越は因の二なり一般財界の好景氣は因の三なり、地方筋の活氣横溢せるは因の四に候。

○赤糖亦双等の裾物は如何、現品地を拂ふて市中に殆ど在荷なし、然るに分蜜精糖の高値の爲め安値の裾物に買附向も多し相場は異常の上走りなして賣手の唱ふるまゝに全く無標準の高値を現出致申候、赤糖の來期産額亦左程に多からず、マニラも高唱を報ずるあれば其前途想到に難からざる也。

○赤糖相場に蜜接の關係ある黒糖は其後愈本腰となり申候地方筋の買氣は依然旺盛にして從て出荷減切り増大し、さなきだに産地方面は産糖の出廻り多し少遲延致すべきを傳ふるに至りたれば持越糖は大したる額には登る間敷と一般の認むる處となり東京鹿兒島兩市場如何にと見るに是れ又品薄の爲め相場は突飛となり東京の如き十三圓に垂んとする破天空の有様たる事と東西兩市場は茲に相應じて建實なる歩調を辿り當市十二錢を突破するに至り申候

○上向きにありたる大東白下は今日にありては總ての砂糖と比較して格安にある事とて需用頗に復活を來し出荷殷盛を極め居り申候。

○以下露西亞通信を掲げて御參考に供候。○久振にて露西亞内地糖界の模様申上候、政府當局者も昨今愈々來期産糖が當抵充分なる成績を揚げ得ざるべきを

確認せる様に候、本年度を通じて市場に提供さるべき數量は一億一千四百萬ブード(一ブードは我約四貫三百六十目)と目され從來國內市場に供給されしものうち最大數量なるにも拘らず都に於ては數百名宛の群衆幾組も街に立ちて一封度乃至二封度の砂糖を得んとして吸々たる有様に候、廿年前當國に於ける砂糖生産總額は四千萬ブードにして一方消費額たるや僅々二千五百萬ブードに過ぎざりしも一八九五年よりは需要非常に増進し來り一九一四年度には八千五百萬ブードを一九一五年度には九千五百萬ブードでふレコードを作るに至り申候。

然して過去十ヶ年間に於ける一ヶ年の消費増加額は三、四百萬ブードとして前記一億一千四百萬ブードの數字は軍隊の多大なる需要あると雖も本年度當國市場への提供額として十分なる數量かと被存候。

而し國內砂糖分配は極めて不公平にして一方に偏し最も多額の數量を要求されたる處には分配されざるに一方官廳等にては要求額よりは常に多量の供給を受け居るが如き状態にて是迄種々の場合に表明されたる地方の砂糖欲乏も其の因を茲に發せるにはあらざるかと被存候。

されば精製糖の販賣禁止や砂糖缺乏の風聞の傳へらるゝ結果消費者は砂糖の手持を爲す事を初め家庭に於ても從來數封度を用意せしもの昨今數ブードを貯ふるが如き有様に候。

又キープ市に於ける中央局は三月二十

四日より四月六日迄に工場より生産される可能的供給額を以て帝國各市場へ供給すべき方法を、政府自身の無智、無經驗の爲め各市場の豫期に反し再度の失敗を重ねたる由に候。

然れ共前陳の砂糖分配の不公平、砂糖缺乏と風聞に依れる消費者の手持主義及此度の中央局の再度の供給方法失敗其他種々の事情あると雖も本年度供給額たる前記一億一千四百萬ブードの數量は不足を感ずるが如き事可無之候更に一步を進め來期産糖は如何と見れば其の植付は僅かに五十九萬六千デシヤチン(一デシヤチン我約一町一反)平年植付八十五萬ヘクタールにして此れより收らるゝ砂糖は八千五百萬ブード乃至九千萬ブードに不過、而もそれがブード運搬に對する鐵道會社の處置宜しきを得製造會社は燃料の供給を十分に受け得られたる場合の最高額なりとすれば實に寒心に不堪なるもの有之候

かくの如く來期砂糖缺乏も最早や疑ひなきものとすれば機宜の手段により格も肉類其他の食料品が採れる如き方法を以て來るべき砂糖饑飢を防禦せざるべからざるは明々白々なる事に候、其の機宜の手段として或者は日本糖の輸入により缺乏を満たすべしと云ひ或者は法律に依り消費制限を行ふべしと唱ふるなど區々にして其何れを探るべきか好研究問題と致居候。

然し此の際外國糖輸入問題は好き話柄に無之候何となれば當國砂糖は來年度五六月頃迄の分は既に用意出來居り

殊に又輸入するとすれば勢い糖價は一ブードに付き十乃至十二ルーブル見當なる事と若し蒲潮を通じて輸入するものとすれば運賃として一ブードに付き十二乃至十五ルーブルを支拂はざるべからざるを忘る不能候、然し當國輸入税の撤廢せられたる今日蒲潮經由の輸入商談又有望ならずとせす候。

過日キープ市よりの通信によれば(資本家の聯合)は製糖工場の新機軸買收(無論高價なるは承知の上)に漸次着手し既に彼等の一味とも見るべき地方法律家は致工場の買收に成功せる者もあり、又個人の手にも工場買收が行はれ居る由にて當局者は早も是等の買收計畫が資本家の投機心に基ける事を觀取して前後策を講じ居る有様に候然して現今の砂糖問題に一新機軸を與ふべく目下新工場の設立が計畫されエレ、ブロードスキュー氏はピニットブン町に一大工場を建設すべく既に八十五エーカーの土地買取を終へしを初め資本金五百萬ルーブルの工場建設組合が構成される等凄まじきものに候、此の計畫に對しては目下不振の地位にある從來の小製造者の苦情あるべきは何人も認むる處なりと雖も大局上かく砂糖生産が減少しつゝある大々便益を與ふては外國糖輸入に對し大々便益を與ふては適當なる事と存候政府が今度輸入砂糖二千萬ブードに對し關稅撤廢を發表せる以所は此邊に起因するもの歟と存候來期歐洲ブード産額豫想を次の如く報ずる者も有之候

大阪市南區末吉橋通二丁目

青糖水抄糖A印

大日本製糖會社製品

大阪倉渡シ〔壹俵百斤入〕
轉ガシ値段

SA	五温	廿五圓參拾錢
SK	五温	廿四圓參錢
SL	五温	廿參圓五拾錢
SB	四温	廿四圓參拾錢
SR	四温	廿參圓八拾錢
ST	三温	廿參圓參拾錢
SW	三温	貳拾貳圓九錢
SX	三温	貳拾貳圓五拾錢
SU	三温	貳拾貳圓貳拾錢
SO	三温	貳拾貳圓拾錢

角砂糖廿五封度入
一封度ニ付

御注文は成行にて御勉強致候

臺灣製糖神戸製品

〔大阪又ハ神戸倉渡シ〕
壹俵百斤轉ガシ

新NSA	新高製糖	拾九圓六拾錢
新TOB	東洋製糖	拾九圓六拾錢
新TBB	臺灣製糖三温	拾九圓九拾錢
新MS	山明製糖	拾九圓五拾錢
新SAA	新興製糖	品切
新TAB	臺灣製糖	拾九圓七拾錢
新LSB	林本源製糖	品切
新TEA	帝國製糖	品切
新ESB	鹽水港製糖	品切
〇〇〇	四温	貳拾貳圓八拾五錢
MMM	四温	貳拾參圓二拾五錢

臺灣分蜜糖 大阪倉渡シ
直積

新MS^B 治製糖 品

新MS ^B	治製糖	品切
DN	二番糖	全
NSM	二番糖	拾參圓八拾錢
TOM	二番糖	品切
SHB	同	品切
TOM	赤特上	品切
EBB	特上二番糖	品切
TEC	二番糖	品切
TOC	臺灣赤糖	品切
NE	同	品切
H	好上斗	拾參圓八拾錢
●	マニラ糖 大阪倉渡シ	
●	檜入二枚壹俵三、四十斤入	
飛切	參號	品切
上	參號	品切
次	品	品切
アンペラ	百斤俵	品切

臺灣白糖

鹽水白双A	品切
同白糖EK	品切
東洋白双T	品切
同白双星T	品切
東洋三温O	品切
全星O	品切
●糖蜜	
△糖蜜	九圓拾錢
日出全	八圓八拾錢
●北海道片栗粉	
一等粉	拾四圓
先物拾、拾壹月	
●マカロニー	
六十ポント入一箱	
拾參圓八拾錢	

場相糖黑店商木鈴 辰

御發電は凡て(オサカス、キ)宛にて着電致し候別に町名不記共宜敷御座候

黒糖及び白下地

(但し歩合口錢として五歩掛り可申受候)

全 琉球	全 琉球	全 東 西	全 東 西	全 德之島	全 德之島	全 名瀬字檢	全 名瀬字檢	全 笠 利	全 笠 利	全 喜 界	全 喜 界	全 永良部	全 永良部	全 宮 古	全 宮 古	全 琉球白下	全 琉球白下	全 大東白下	全 大東白下
貳歩半	貳歩半	壹歩半	壹歩半	貳歩	貳歩	壹歩半	壹歩半	貳歩	貳歩	貳歩半	貳歩半	貳歩	貳歩	壹歩半	壹歩半	壹歩	壹歩	別撰品	別撰品
拾貳	拾貳	拾壹錢	拾壹錢	拾壹錢	拾壹錢	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾貳圓參拾錢	拾貳圓參拾錢
錢切	錢切	厘	厘	厘	厘	厘	厘	厘	厘	厘	厘	厘	厘	厘	厘	厘	厘	厘	厘

北陸奥羽北海道向

二百目斤建本造直段(風袋三貫八) 二百目斤

辰 琉球別撰	辰 琉球別撰	辰 全一ツ撰	辰 全一ツ撰	辰 東西別撰	辰 東西別撰	辰 全一ツ撰	辰 全一ツ撰
拾五圓六拾錢	拾五圓六拾錢	拾五圓參拾錢	拾五圓六拾錢	拾 六 圓	拾 六 圓	拾五圓六拾錢	拾五圓六拾錢

右之外規定の通荷造賃中受候

大阪市南區末吉橋通二丁目

鈴木商店黒糖部

大里製粉

紫ダイヤ印	赤ダイヤ印	緑ダイヤ印	穀類	(大穀ブラン印)	小穀シヨート印)	麵類	赤友白髮	緑友白髮	千ウドン
參圓拾五錢	參圓拾錢	貳圓九拾錢	壹圓五拾五錢	壹圓四拾五錢	壹圓四拾五錢	品切	品切	品切	品切

鈴木商店麥粉部